「ＧＩＳで小学生を笑顔に」プロジェクト

坂井市役所　学校教育課
北岡　武

キーワード　GIS（ICT）教育・地理院地図・古地図・空中写真・地域創生・人口減少対策

市の公開型 GIS（坂井市 WebMap）を活用して小学生への出前授業を行う取組を行っています。GIS はさまざまな位置情報を地図上に重ね合わせができること等、GIS の特徴を学び、小学生自らが GIS を操作して作図を行う、能動的な ICT 学習を行っています。

このプロジェクトは平成 25 年度より実施しており、初年度は、小学 6 年生が、「町のおすすめしたい場所」におすすめするコメントを添えて GIS に登録し、「町のよさを伝えるパンフレット」を作成しました。26 年度は、市内 5 校の小学 6 年生が、日ごろ思っている校区の危険個所を GIS で登録し、校区の「安全マップ」を作成しました。マップは WEB 公開して、家族や地域の方にご覧いただき、情報を共有することで、犯罪や事故の防止を目指しています。

昨年度は、小学 3 年生という低学年児童を対象にして、「GIS で町たんけん」と題して、実際に社会科の授業で歩いた町（地域の主要な施設等）が、GIS 上（電子地図上）では、どう見えるのか、空中写真で見ると自分の住んでいる町は、どんな風に見えるのか、地域学習によって地域のことを知るとともに、GIS 学習によって現実世界と地図を結びつける空間認識力の向上にもつながる取り組みを行いました。さらに、今年度、４年生になった同じ児童を対象にハザードマップで防災について考える授業を展開しています。

GIS をツールとして、小学生が地域のことや歴史を学び、ふるさと「坂井市」に愛着を持つ、シビックプライドの醸成や、学校・家庭、地域との連携による**「安全安心」**で**「笑顔」**で暮らせる**「まちづくり」**を目指しています。